

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 24日

呉市長 様

提出者 株式会社 I H I 航空宇宙防衛事業領域 呉第二工場

住所 広島県呉市昭和町 2 番 1 号

氏名 田川 浩志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0823-26-2400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 I H I 航空宇宙防衛事業領域 呉第二工場
事業場の所在地	広島県呉市昭和町 2 番 1 号
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙 1, 2のとおり	
①事業の種類	輸送機器製造業
②事業の規模	848億円
③従業員数	607人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥：溶融→焼却→再生 廃プラスチック：圧縮→焼成→再生 鋳さい：破砕→溶融→再生 廃油：油水分離→再生 木屑：破砕→焼却→排熱利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		別紙 1, 2 のとおり
(管理体制図)		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 (2023年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木屑
	排出量	201 t	116 t
	(これまでに実施した取組) 切削水の長寿化, 梱包材の再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木屑
	排出量	181 t	100 t
	(今後実施する予定の取組) 殺菌剤とオイルスキマーを使用して切削水の更なる長寿命化を図る。 切削水タンクの清掃頻度を増やし, 切削水の更なる長寿命化を図る。 梱包を簡素化する機種を増やし, 更なる廃木材の削減を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項		別紙 1, 2 のとおり
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	木屑
	全処理委託量	201 t	116 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	201 t	116 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
切削水の長寿命化, 梱包材の再利用			

		【目標】 別紙1, 2のとおり		
		産業廃棄物の種類	廃油	木屑
②計画	全処理委託量	180	t	100 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量	181	t	100 t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
<p>殺菌剤とオイルスキマーを使用して切削水の更なる長寿命化を図る。 切削水タンクの清掃頻度を増やし、切削水の更なる長寿命化を図る。 梱包を簡素化する機種を増やし、更なる廃木材の削減を図る。</p>				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(2023年度)実績量

計画：今年度(2024年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻											137	137	107	107	137	137				
汚泥	137	137									201	181	1	1	201	181				
廃油	201	181									3	3			3	3				
廃酸	3	3									35	35			35	35				
廃アルカリ	35	35									12	12	12	12	12	12				
廃プラスチック類	12	12																		
紙くず											116	100			116	100				
木くず	116	100																		
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず											4	4			4	4				
金属くず	4	4									5	5			5	5				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	5	5									19	19	18	18	19	19				
繊維さい	19	19																		
がれき類																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
蛍光灯(水銀使用製品)	1	1									1	1			1	1				
小型家電	0	0									0	0			0	0				
廃OA機器類	2	2									2	2			2	2				
合計	535	499	0	0	0	0	0	0	0	0	535	499	138	138	535	499	0	0	0	0

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等, 別紙を参照)

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後, 分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
-----	---------------

②計画	(今後実施する予定の取組)
-----	---------------

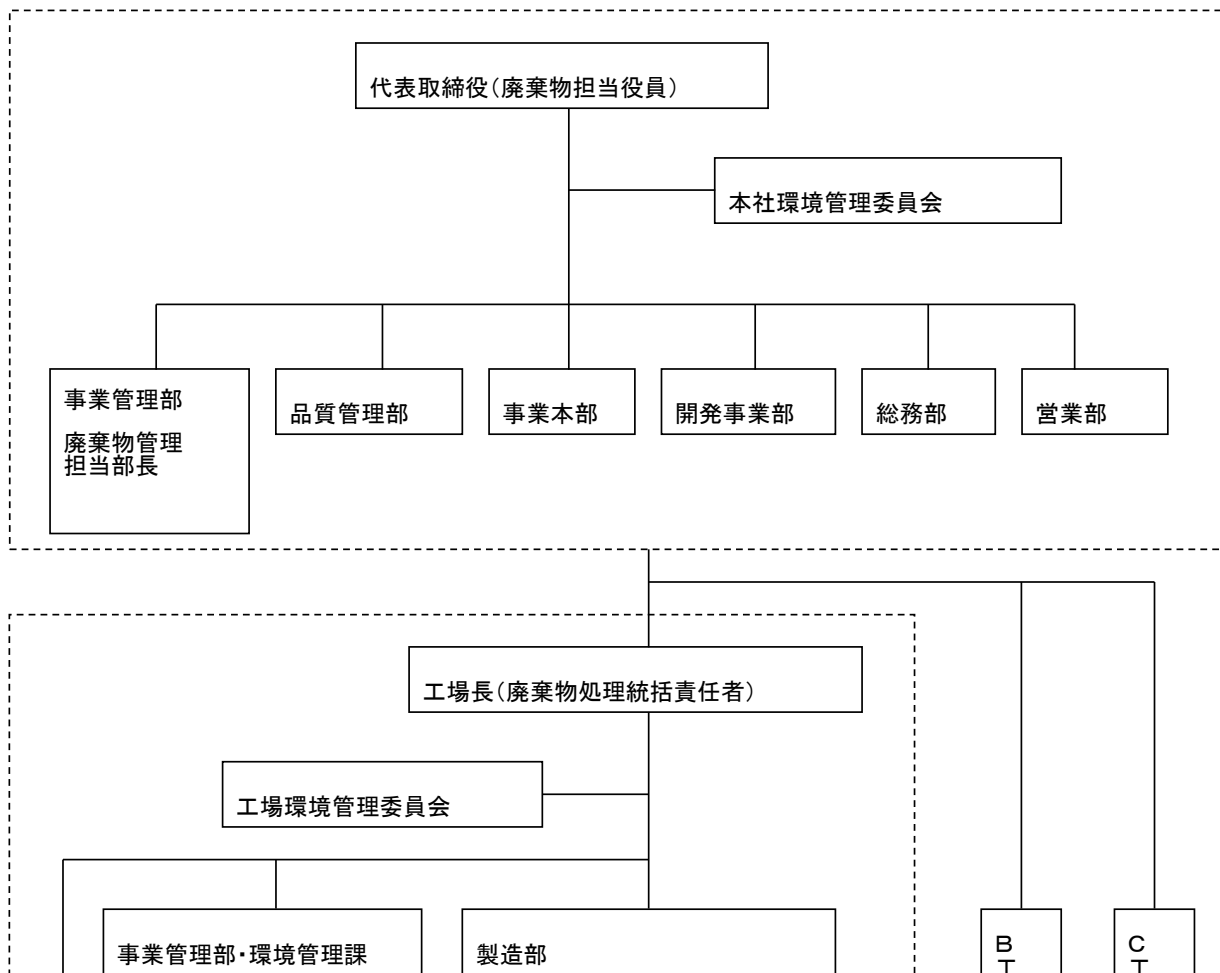
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

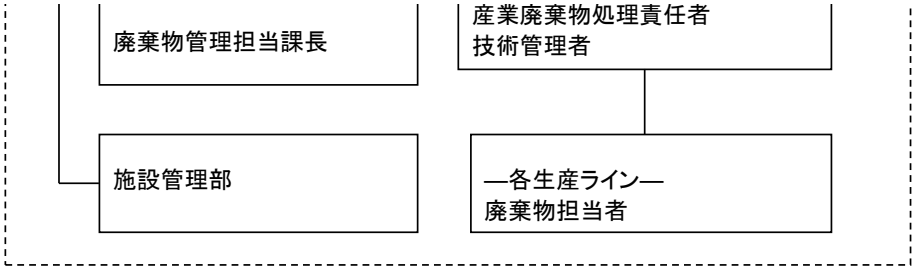
①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

管理体制図の例





場

場